

「1学期を終えるにあたり」(終業式 式辞)

4月7日の始業式、その翌日4月8日の入学式から始まった令和7年度1学期が、今日区切りを迎えます。授業日数は73日。先ほど、3名の代表者が自分自身の生活をふり返り、頑張ったことを発表してくれましたが、皆さんにとっての1学期はどのような時間だったのでしょうか。

私は始業式で、意識してほしいことを3つ、お話ししました。1つめが「好きなもの、興味のあるものを見つけ、精一杯取り組もう」、2つめが「よい姿勢を意識しよう」、3つめが「事故の無い生活をしよう」ということでした。この3つについてもしっかりと自分を見つめ直し、2学期以降の学校生活につなげてほしいと思います。

さて、毎日の授業に加え、ペア遠足や5年生の林間学校、さらには航空写真撮影や新しい水車のお披露目集会という150周年記念行事などが行われた1学期ですが、私の中での最大の感動・喜びは、2週間ほど前に行われた「6年生主催の縁日」でした。射的、ボウリング、ヨーヨー釣り、ストラックアウト、風船バレー、そしてお化け屋敷までもが用意された楽しい催しを、みんなもよく覚えていると思います。

では、何が私を喜ばせたのか。なぜ、他の行事以上の感動があったのか。それは、「6年生が自分たちで考え、自分たちで意見を出し、学校全体に楽しみと幸せを提供してくれた行事であった」からです。先生たちやPTA役員さんなどの大人が考えたものではありません。6年生が主体性を発揮したのです。さらに、参加してくれた下級生たちが5時間目の授業に遅れないように、毎回丁寧な呼びかけをしてくれていました。また、片付けも素早かった。そして、3日間の縁日はあれほど盛り上がったのに、事故やけがが無く終わることができました。「自分(たち)で考える」「自分(たち)はもちろん、ほかの人たちも一緒に楽しむ」「楽しむけれどルールは守る」「事故やけがが無い」という4点から、最高の催しであったと、私は感動したわけです。6年生のみんな、本当にありがとう。

この4つのポイントは、夏休みにも、2学期以降の生活にも生かせる内容だと思います。明日からの夏休みでは、39日という時間の中で、ぜひ自分から行動を起こしてみてください。頭と心と体をたくさん動かしてください。そして、夏休み最終日には「ああ、楽しかった!」と満足していることを願います。そのためにも、正しい生活リズムを意識して毎日を過ごすこと、絶対に事故が無いということは伊佐見小にかかわる全員での約束です。

職員一同、9月1日に笑顔の皆さんと会えることを楽しみにしています。